



平成 31 年 1 月 4 日

各 位

会社名 花月園観光株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 嘉之輔
(コード番号 9674 東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務部長 堤 道雄
(TEL 045 - 228 - 8860)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、平成 30 年 12 月において月間平均時価総額及び月末時価総額が 10 億円未満となりましたので、今後の見通し等につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成 30 年 12 月の月間平均時価総額及び月末時価総額が 10 億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程第 601 条第 1 項第 4 号 a 本文では、9 ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を 3 ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては、3 ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が 10 億円以上にならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

(ご参考)

①平成 30 年 12 月の月間平均時価総額	990,400,125 円
②平成 30 年 12 月の月末時価総額	832,068,600 円
(12 月 28 日終値 471 円×12 月末日上場株式数 1,766,600 株)	

2. 今後の見通しについて

当社は、平成 30 年 7 月から 9 月の車券売上高が、記録的猛暑と台風の影響により予想を大幅に下回り、平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算において、営業損失、経常損失、四半期純損失を計上いたしました。しかしながら、平成 30 年 10 月以降の車券売上高は順調に推移し、また、平成 30 年 4 月 16 日付で公表した、主力事業所である複合型場外車券売場サテライト横浜及びオートレース横浜における平成 30 年 10 月からの投票関連業務自営化開始に伴う経費削減の結果、平成 31 年 3 月期通期業績予想では各利益の確保を見込、来期についても、経費削減効果が通期化することにより、更なる業績改善が見込まれる状況にあります。

このような状況のもと、今後当社は既存の各施設の複合型場外化を推し進め、会員制場外における会員数の増加と更なる運営の効率化に取り組むとともに、競輪事業で培ったノウハウを活かし、他公営競技を含む場外発売施設における新たな運営受託・コンサルタント業務の獲得に努めることにより増収を図り、引き続き東京証券取引所における上場を維持してまいりたいと考えております。

また、今後 3 ヶ月以内に東京証券取引所へ「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますが、今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上